



# 議会活動報告紙 新おだわら

発行者 : 日本共産党小田原市議会議員団  
 住所 : 神奈川県小田原市荻窪300 小田原市役所内  
 電話番号 : 0465-33-1300(市役所) 内線/789  
 E-mail : jcpodawara@gmail.com  
 Webサイト : http://jcpodawara.d.doou.jp/



三月定例会では、市長施政方針演説の後に各党派代表質問、予算特別委員会の最後に総括質疑を行っています。この間議運では質問、質疑の効率化を検討し、代表質問は施政方針に則った形で行うことに。時間は引き続き検討とされていましたが、今回代表質問、総括質疑の重複を理由に代表質問の時間を減らす提議がなされました。日本共産党は、次の理由で代

表質問の時間削減に反対しました。  
 ①代表質問と総括質疑の性格は異なり、内容の重複はありうることで問題ない。  
 ②各党派が市政全般にわたり会派の考え方を述べる代表質問は大変重要。  
 ③今期から議員定数が一減となり、その分市民の声を反映するために増やすことはあっても減らすべきではない。  
 ④議員の発言権を議員自ら削ることはあってはな

議会運営委員会では、三月定例会の会派代表質問、予算特別委員会総括質疑の時間が議題に。日本共産党は、現在でも時間が不足気味な代表質問、総括質疑とも増やすことを主張しましたが、代表質問の時間を削り総括質疑の時間を増やすことに決定しました。

## 議員の発言権を 守り抜くために全力

三月定例会  
代表質問の  
時間削減に反対

今後も市民のくらし・福祉の充実を実現するために、議員の発言時間確保のために頑張ってください。

らない。

■代表質問の時間  
 三人会派五〇分以内(日本共産党) 四〜七人会派一時間以内(志民の会、新生クラブ、公明党) 八〜一五人会派二時間以内(誠風) 一六人以上会派三時間以内(個人質問 無会派二〇分以内)  
 ※参考  
 昨年三月定例会代表質問の実際の時間(会派持ち時間)  
 ①持ち時間と同程度 日本共産党四九分(五〇分) 公明党五四分(六〇分)  
 ②持ち時間の半分程度 新生クラブ三三分(六〇分) 志民の会三一分(六〇分) 誠風二八分(六〇分)  
 ③持ち時間の三分の一程度 創政会一六分(五〇分)

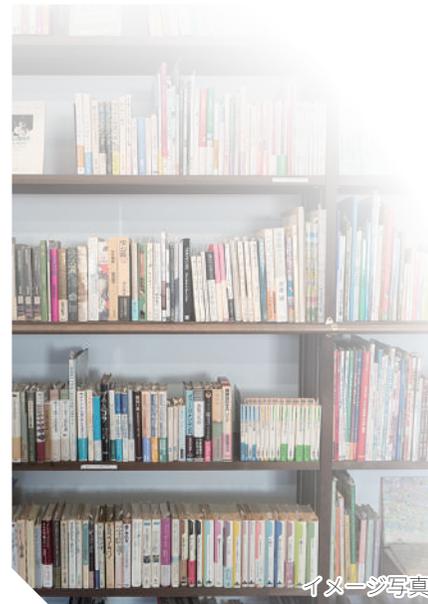
常任委員会審議から



## 現市立図書館の 資料継続・保存を確実に

厚生文教常任委員会 横田英司

厚生文教常任委員会では、閉会中の七月五日に、「小田原駅東口図書館及びおだびよ子育て支援センターの開館スケジュールについて」報告されました。  
 現在、小田原駅前東口に建設中の広域交流施設高層棟6階に、小田原駅東口図書館を開館、おだびよ子育て支援センターを移転し、来年十月頃開館する。  
 管理運営は、指定管理を今年度三月までに選定して、両施設を一括して行う。と報告されました。



イメージ写真

地域経済の振興に寄与する施設」とされており、廃止される現在の市立図書館の機能を引き継ぐものではありません。小田原市立図書館は、戦前に開設され、地方の公共図書館として先進的な取り組みを行い、貴重な郷土資料・郷土関係の資料を収集してきました。

そこで、私は、現市立図書館の図書が、きちんと継続・保存されるのかと質問しました。この問題については、引き続き行っていききたいと思っています。

## 日本共産党の 無料法律相談

担当弁護士

岡村三穂

次回：10月9日(水) 午後1時より 次々回：11月5日(火) 午後1時より

※予約制ですので相談される方は、横田、田中、岩田までお申し出ください。



田中りえ子

# 議会運営委員会視察報告

七月三〇日～三十一日は議会運営委員会の視察でした。滋賀県大津市では政策検討会議、議会意思決定条例、議決事件の検証について、京都市会では議会基本条例の検証等についてそれぞれ調査しました。政策検討会議は考え方の違う会派が条例等を制定、策定することに関心を持ちました。議論をし尽くす素地はすでにあったのか気になり、例えば議員間討議が活発に行われていたことがあったのかと思ひ、そのあたりの経緯を尋ねました。応答の中で、政策検討会議の中で議員間討議は活発でも、それ以外ではそうならないということが分かり、そういうものかと思ひました。最終的に意見の不一致もあり、ま

らなこともあったとのことでした。この意見の相違については、それはそれで尊重し合ひ、当然のことはいえ民主的に運営されていると思ひました。京都市会（京都市では、一九四七年の地方自治法により市会を市議会と改称した後も「市会」呼称しています）では非常に丁寧な検証等を行って行きたいと思ひます。いずれも参考になりました。



## 委員会 視察報告



# 聴取広報 委員会 視察報告

岩田泰明

七月二十九日～三〇日に、広報広聴常任委員会の視察に参加しました。視察先は、宮城県名取市と宮城郡利府町でした。調査項目は、「一、議会ツイッターについて（一）議会ツイッターの概要、取り組み状況、運用までの経緯、効果など（二）ガイドラインの概要、策定までの経緯／二、議会だよりにつ

いて（一）リニューアルの概要、市民からの反響・影響／三、議会懇談会について（一）議会懇談会の概要、開催の経緯など（二）市民からの反響・影響、市政への効果など」で、利府町では「一、議会報告会について（一）議会報告会の概要、開催の経緯など（二）市民からの反響・影響、市政への効果など二、議会だよりについて（一）議会だよりの概要、取り組みの工夫など（二）市民からの反響、市政・市議会への効果など」でした。両市とも議会広報誌はレイアウトなどにも気が配られて見やすいものとなっていました。内容では、議案賛否について何故賛成したか、何故反対したかをそれぞれの立場の議員の理由を掲載し、読者の便宜を図っている点が良いと感じまし

た。また、議会広報誌の編集実務を議員自身が担い、議会広報誌の中で企画記事を作成している点は新鮮でした。議会報告会については、名取市では参加者の固定化や人数が少ないことなど、共通する悩みも率直に出されました。利府町では、かなり丁寧な報告会の内容であること、そしてそこで出た参加者の質問、意見などを分類し「利府町議会報告会実施報告書」としてまとめ、PDFで公開するなどしています。議会報告会の在り方とその中身をどのように有権者に返していくか、努力の方向性を学ぶことができました。初めての視察でしたが、大いに参考になりました。

## 九月

### 定例会の「案内

- 会期 九月二日（月）～一〇月八日（火）
- 議案採決 九月二三日（金）
- 一般質問 九月二三日（金）
- 決算審議 九月二〇日（金）～九月二〇日（金）
- 九月二〇日（金）～一〇月八日（火）

### 議会一般質問

日本共産党小田原市議会議員団は、一般質問で以下の課題について取り上げます。横田英司、岩田泰明、田中利恵子の一般質問は、九月一九日（木）です。

#### 横田英司

- 一、重度訪問介護サービスについて
  - （一）サービスが現実に利用できにくい問題について
- 二、図書館について
  - （一）市立図書館閉館後の図書資料の保存・管理について
  - （二）小田原駅東口図書館で働く人の待遇について

#### 岩田泰明

- 三、博物館構想と郷土文化館について
  - （一）郷土文化館の現状と当面について
- 一、人口減少と地域の持続性への影響について
  - （一）支所等廃止に関連する諸問題について
- 二、公文書管理の充実について
  - （一）本市における公文書管理の現況について
  - （二）公文書管理の充実・電子化の推進について

#### 田中利恵子

- 一、公共施設包括管理マネジメント事業について
  - （一）背景にある問題点について
  - （二）偽装請負のおそれについて
  - （三）住民サービス低下のおそれについて
  - （四）中小企業、労働者を守ることにについて
- 二、幼児教育・保育の無償化について
  - （一）無償化で危惧される子どもの安全性について